

## 2022年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（映像・現代文化論） <input type="checkbox"/> 共通外国語（—————）
出題の意図	<p>映像・表象文化、もしくは、日本近現代文学・思想に関する専門的知識と研究遂行能力を問う。</p> <p>問題Ⅰは、6題の選択肢から志望する分野に応じて二つを選択する記述問題。映画史、日本近現代文学・文化史から幅広く出題し、専門的知識を踏まえた上で、与えられた課題を論理的に記述できる表現力を求める。</p> <p>問題Ⅱは、A・Bの2題のうちから志望する分野に応じて一つを選択する記述問題。学術的な出題文の正確な読解能力と、そこから得られた知見を的確に分析して生かすことのできる研究遂行能力を求める。</p>

2022年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）  
（専門試験） 映像・現代文化論 全7枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 7枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
- ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。

---

問題Ⅰ

次の1～6の中から二つを選択し、選択番号を明記した上で解答しなさい（各400字程度）。

1. 日本自然主義とエミール・ゾラの自然主義との関係を概説し、両者の相違点を文芸様式の観点から述べなさい。
2. プロレタリア文学の作品を一点取り上げて、ジェンダーの観点から述べなさい。
3. 日本語を母語としない作家による日本文学を一点取り上げて、その文芸的な特徴を述べなさい。
4. 「スクリーンボールコメディ」について、歴史性・文法・主題・シチュエーションコメディとの違いなどを踏まえて述べなさい。
5. デジタル編集に主流が変わって、映画そのものにどのような変化が起こったのかを述べなさい。
6. 現在の映画のインターネット配信を世界の映画監督はどのように利用しているのか、具体例を挙げて述べなさい。

問題Ⅱ A

次の文章は、今井瞳良『団地映画論——居住空間イメージの戦後史』（水声社、2021年）の一節である（設問の都合により、一部を省略した）。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）居住空間と文学との関わりについて、問題文との関連性に留意しつつ、具体的な作家・作品を挙げて論じなさい（800字程度）。ただし、研究計画書で取り上げた作家・作品との重複はできるだけ避けること。

**\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 今井瞳良『団地映画論——居住空間イメージの戦後史』、水声社、2021年、166～170頁





問Ⅱ B

次の文章は、前田英樹『小津安二郎の喜び』（講談社、2016年）の一節である（設問の都合により、一部を省略した）。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）映画における二人物の会話シーンについて、問題文との関連性に留意しつつ、具体的な作家・作品名を挙げて論じなさい（800字程度）。ただし、研究計画書で取り上げた作家・作品との重複はできるだけ避けること。

- \* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 前田英樹『小津安二郎の喜び』、講談社、2016年、285～290頁



